

## 資料

## イギリスにおける看護師の教育制度の変遷と看護職の現状

曾根志穂 高井純子 大木秀一 斉藤恵美子

田村須賀子 金川克子 佐伯和子\*

## 概要

イギリスにおける看護職の教育体制と現状について調査し、わが国の看護職の役割や資質向上への取り組みの一参考とすることを目的として、関連文献とインターネットを中心に情報収集した。その結果、イギリスの国家政策や医療保障制度と看護職の関連やそれともなう教育制度の変遷と看護職の現状について明らかになった。イギリスでは 1990 年代以降、看護職をとりまく状況は国家政策による医療保障制度の改革の影響を強く受け、現在も大きく変化し続けている。今後もイギリスの看護師教育から就労状況に至る経過や看護職の役割拡大などの動向を引き続き調査し、さらにわが国の現在もしくは将来的な看護職の資質向上への取り組みの参考としたい。

**キーワード** イギリス, 医療保障制度, 看護教育, 看護師免許, 看護師不足

## 1. はじめに

英国（グレートブリテン及び北アイルランド連邦王国）（United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland）（以下イギリス）は、ナイチンゲールが近代看護とその教育の基礎を築いた国であり、看護学の発展において非常に重要な位置付けにある。1848 年には世界で初めて公衆衛生法が成立し、公衆衛生看護活動が始まり、地域での看護活動が展開された。さらに 1946 年国民保健サービス法（National Health Service Act）の成立によって、保健医療は基本的に国営化され、わが国とは異なった制度となっている。

筆者らは、平成 16 年度科学研究費補助金基盤研究（C）企画調査において地域ケアシステムの国際比較研究を行うにあたり、イギリスの国家政策や医療保障制度と看護職との関連やそれともなう教育制度の変遷と看護職の現状について文献とインターネットを中心に調査し検討しているが、本稿の目的はその一部としてイギリスにおける看護教育制度の変遷と看護職の資格や登録数などを把握し、わが国の看護職の役割や資質向上への取り組みを考える一助とするためにまとめたので報告する。

## 2. 方法

医学中央雑誌をデータベースとしキーワードとして「イギリス」and「英国」or「看護師」or「看

護教育」or「看護師免許」のみを設定し抽出された文献、資料および厚生労働省科学研究成果データベースから「イギリス」「看護教育」をキーワードとして抽出された報告書、インターネット検索エンジンに同様のキーワードを設定して得られたウェブサイト、イギリス看護関係機関や大学ホームページから情報収集した。

## 3. 結果

## 3. 1 イギリスの医療保障制度と看護師との関連

イギリスでは、1946 年に制定された国民保健サービス法（National Health Service Act）に基づき、1948 年から国民保健サービス NHS（National Health Service）により、全国民に保健医療サービスが提供されている。NHS ではその費用のほとんどを国税によって運営されており、基本的に無料でサービスを受けることができる<sup>1)</sup>。しかし 1980 年代以降 NHS は、低医療費政策によるサービス供給量の不足と質の低下、NHS 組織の巨大化・官僚化、さまざまな政権下で繰り返される制度改革による混乱などにより疲弊化し<sup>2)</sup>、危機的状況に陥り、1990 年以降大々的な NHS の改革が行われている。イギリスの就業看護師数は約 40 万人（1998 年）であり、その多くが NHS に雇用されており、約 33 万人が所属している<sup>3)4)</sup>。その種類は、Practice Nurse という一般医（General Practitioner : GP）に雇われている看

\*金沢大学医学部保健学科

看護師や District Nurse という在宅患者に対して訪問看護を行う看護師, Health Visitor という住民の健康増進と予防活動を行う看護職(日本でいう保健師のような職種)<sup>5,7)</sup>などである。イギリスの保健医療システムによる看護職の就労場所は大きく分けて2つあり, 病院での医療サービスと地域での保健医療サービスの場である。病院は一時的な診療を行なうのみで, その後の継続的な患者のケアは地域での保健医療サービスの場で行なわれており, 多くの看護職が地域で活躍しているといえる。2000年に策定された The NHS Plan : A Plan for Investment, a plan for reform という NHS 改革では, 地域ごとにニーズを把握し, それに合わせた迅速かつ利便性の高いケアを継続的に高い水準で提供していくことを目指している<sup>8)</sup>。プライマリケアや予防ケア, セルフケアを重視し, 具体的な推進施設としてプライマリケアトラスト (Primary Care Trust : PCT) が設立された。プライマリケアの実践のために看護職の活躍が期待されており, 健康維持や疾病予防活動を地域において看護職が中心的に活動できるような役割の拡大が進められている<sup>9)</sup>。しかし, NHS ではスタッフ不足, とりわけ看護師不足が問題となっている<sup>10-12)</sup>。NHS 改革では2004年までに2万人以上の看護師の増員を目指しており, さらに2008年までに3万5千人以上の増員を目標として設定している<sup>13)</sup>。

### 3. 2 看護職の教育制度について

#### (1) イギリスの看護職管理団体

看護・助産審議会 (The Nursing and Midwifery Council) (以下 NMC) は, イギリス保健省による看護助産規定 2001 (Nursing and Midwifery Order 2001) に基づき, 看護師や助産師が質の高い看護を維持することを目的に, 2002年4月に創設された。NMCの主な業務は, 1. 看護師や助産師および保健師の資格登録, 2. 教育や実践および看護行為の規範規定, 3. 看護師や助産師および保健師への助言, 4. 違法行為や健康障害による職務不能の申し立て対応に関することを行っている。

教育に関しては, 看護職の基礎教育から継続教育までの教育全般および基礎資格から上級資格の認定と登録までを一括して担当している<sup>14)</sup>。

#### (2) 教育制度改革の歴史

看護職を取り巻く NHS の改革などの社会状況

の変化に対応し, より質の高い看護教育を行っていくには, 大学レベルの看護教育が必要であるとして, NMC の前身組織である UKCC (United Kingdom Central Council for Nursing, Midwifery and Health Visiting) が1986年に看護教育改革「プロジェクト 2000(A New Preparation for Practice)」をイギリス政府に提案し, 1990年から順次実施された<sup>15-17)</sup>。プロジェクト 2000では, 基礎看護教育のカリキュラム改正, 准看護師養成の停止, 看護養成課程の大学化, 看護教員の資質の向上, 看護学生の地位の向上, 継続教育コースの設置などが実施された<sup>18)19)</sup>。その後, 1998年に UKCC はイギリス保健省 (Department of Health) の要請によりプロジェクト 2000の評価を行う委員会 (Commission for education) を設置し, 1999年に「Fitness for Practice」<sup>20)</sup>という看護教育における報告書を出した。その内容は, プロジェクト 2000による看護教育プログラムの問題点や今後の課題を挙げており, 看護学教育を受ける学生の増加に伴い多様な学生の背景に対処する必要があること, プロジェクト 2000で育成された看護職には知識基盤はあるものの臨床技術と管理技術が不足していることが認められる, などである。その示唆をもとに, 保健省から新しい看護教育プロジェクト「Making a Difference」が1999年に打ち出された。これは, それらの看護職の問題を解決するために, NHS システムの中での看護職の新しい役割と教育のあり方などについて言及している。さらに, 保健省は2000年「Liberating the Talents」という看護戦略に関する報告書を出した。ここには主に地域で働く看護職の役割と職務について提言されており, 今後それに沿って看護職が養成される見込みである<sup>21)22)</sup>。

#### (3) 現在の教育制度

イギリスにおける看護職の養成は, 看護師助産師保健師法 (Nurses, Midwives and Health Visitors Act)<sup>23)</sup>に則り, NMCにより管理されている。プロジェクト 2000が実施されてから, イギリス国内の看護学教育はすべて大学において, 3年間の全日制で行われている。この教育を看護師登録前教育 (pre-registration nursing education) と位置づけている。NMCは, 看護師登録前教育について規定した「Standards of proficiency for pre-registration nursing education」<sup>24)</sup>を2004年8月に改訂している。こ

れには、看護学教育を受けることができる年齢や資格、既修得単位認定、教育プログラムの枠組などの基準が示されており、大学はこれに基づいたカリキュラムで教育をおこなっている。しかし、大学教育といえども通常3年間の教育では学士号の取得はできず、いわゆる看護師登録資格取得コースである。

イギリスでは、学生の段階から特定の専門領域を選択し、その専門教育を受けている。最初の1年間でCommon Foundation Program (CFP)という学生全員が共通した一般教養と基礎看護学を学び、その後2年間で選択した専門領域のBranch Program (BP)を学ぶ<sup>25)</sup>。専門領域は、成人看護 (Adult)、小児看護 (Child)、精神看護 (Mental Health)、学習障害看護 (Learning Disability)の4領域があり、大学によって、全領域を開設している大学もあれば、需要の多い領域だけを開設している大学がある<sup>26)</sup>。学習内容は、CFPおよびBPともに50%が実習、50%が理論という割合になっている。

さらに、学位を取得するための学士課程、修士課程、博士課程があり、さまざまな専門分野の教育、研究が行われている。看護職として働きながら、これらの継続教育を受けられるように、フルタイムまたはパートタイムで修学できるようになっている<sup>27)</sup>。このような卒業後教育、登録後教育 (post-registration nursing education) はすべての看護師に対して、大学や病院施設が院内外のコースを設置して積極的に行われており、生涯教育の発想で実施されている。看護師登録前教育や登録後教育プログラムには、アカデミッククレジットといわれる単位数が設定されており、その単位を積み重ねることによって学位を取得できる<sup>28)29)</sup>。専門性を高めるため、助産師や保健師の免許を取得するためなど、意向に応じて学習期間や教育機関を選択できるようになっている。

### 3. 3 看護師免許登録制度について

イギリスでは、看護師や助産師になるための国家試験は実施されておらず、高等教育機関において看護専門教育を受け、修了することでNMCに看護師や助産師として登録する資格を得ることができる<sup>30)31)</sup>。その登録後、看護師や助産師としての業務に従事できる制度となっている。その資格登録について、表1および表2に示す。

旧看護師登録部門では、各自の専門領域に基づき15部門のいずれか1領域以上に登録を行なっ

ていた<sup>32)</sup>。「プロジェクト2000」による養成教育を修了した看護師の登録が現在の主流になっており、Part12・13・14・15の成人看護 (Adult Nursing)、精神看護 (Mental Health)、学習障害看護 (Learning Disabilities)、小児看護 (Children)の4領域の中から教育プログラムに従って登録していた<sup>33)</sup>。

しかし、2004年8月からは新しい登録制度が実施され、登録部門が15部門から3部門の登録に変更された。その理由は、今までは専門領域や様々な教育課程、資格によって登録選択を行うために15の部門に分類されており、非常に複雑であったためである。新しい登録制度では、各種看護師 (nurses) と助産師 (midwives)、新しい部門の専門公衆衛生看護師 (specialist community public health nurses : RSCPHN) の3部門に大きく統合された。

看護師登録部門 (Nurses part of register) には、さらに2つに分類されている。1部 (Sub-part 1) は正看護師が登録し、2部 (Sub-part 2) はいわゆる准看護師の登録となっている。1部の専門領域は成人看護 (Adult)、精神看護 (Mental Health)、学習障害看護 (Learning Disabilities)、小児看護 (Children)の4つであり、旧登録部門のPart1, Part3, Part5, Part8およびPart12から15の8部門に登録していた看護職がそれぞれ登録されることになる。2部には、成人看護 (Adult)、精神看護 (Mental Health)、学習障害看護 (Learning Disabilities)、一般看護 (General)、熱傷看護 (Fever)の5領域があり、旧登録部門のPart2, Part4, Part6, Part7, Part9に登録していた看護職がそれぞれ移行する。前述したように、現在すでに准看護師の養成は廃止されている。

助産師登録 (Midwives part of the register) は、旧登録部門Part10がそのまま登録される。

専門公衆衛生看護師部門 (specialist community public health nurses part of register) の登録は、旧登録部門のPart11 : Health Visitorだけが移行登録される。しかし、今後は学校看護師 (School nurse) や産業看護師 (Occupational Health nurse)、家族看護師 (Family Health nurse) のような公衆衛生分野で活躍する看護職がこの部門に登録すると考えられる。また、この部門に登録する看護職は、資格の性質上、看護師および助産師登録に加えて重複登録することになる。

登録後、看護職として仕事を継続するためにはNMCが規定する卒業後教育と実務経験 PREP

(Post-Registration Education and Practice) の要件を満たし、3年ごとに資格登録の更新が義務付けられている<sup>34)35)</sup>。3年間のうちに、最低5日

間（あるいは35時間）以上の継続教育を受ける必要がある。

表1 イギリスにおける旧看護師登録部門および部門別登録者数

Part	Description	2002.3	2003.3	2004.3
				(person)
1	First level nurses trained in general nursing	420,717	403,449	404,963
2	Second level nurses trained in general nursing(England and Wales)	105,145	98,695	95,812
3	First level nurses – mental illness	64,107	61,720	60,640
4	Second level nurses – mental illness(England and Wales)	13,361	12,596	12,147
5	First level nurses – learning disabilities	16,727	15,914	15,387
6	Second level nurses – learning disabilities(England and Wales)	4,961	4,618	4,438
7	Second level nurses(Scotland and Northern Ireland)	21,211	20,051	19,453
8	Nurses – children	23,854	22,682	22,083
9	Fever nurses	695	529	429
10	Midwives	86,495	47,617	43,636
11	Health Visitors	24,812	24,578	24,703
12	First level nurses – adult nursing (Project 2000 courses)	71,417	82,421	94,583
13	First level nurses – mental health (Project 2000 courses)	17,168	20,310	23,482
14	First level nurses – learning disabilities (Project 2000 courses)	3,886	4,474	5,039
15	First level nurses - children (Project 2000 courses)	11,686	13,632	15,603
	Total*	886,242	833,286	842,398

\*複数の部門に重複登録できるため、表3で示している登録者数より増加している。

出典：NMC[Statistical analysis of the register 1 April 2003 to 31 March 2004]December 2004

NMC[Statistical analysis of the register 1 April 2002 to 31 March 2003]January 2004

NMC[Statistical analysis of the register 1 April 2001 to 31 March 2002]November 2002

表2 イギリスにおける新看護師登録部門

Nurses part of the register			
Sub-part 1		Sub-part 2	
Field of practice	Registration entry code	Field of practice	Registration entry code
Adult	RN1, RNA	Adult	RN2
Mental Health	RN3, RNMH	Mental Health	RN4
Learning Disabilities	RN5, RNLD	Learning Disabilities	RN6
Children	RN8, RNC	General	RN7
		Fever	RN9
Midwives part of the register			
Field of practice	Registration entry code		
Midwifery	RM		
Specialist community public health nurses part of the register			
Field of practice	Registration entry code		
Specialist Community Public Health Nursing - HV* <sup>1</sup>	RHV		
Specialist Community Public Health Nursing - SN* <sup>2</sup>	RSN		
Specialist Community Public Health Nursing - OH* <sup>3</sup>	ROH		
Specialist Community Public Health Nursing - FHN* <sup>4</sup>	RFHN		

\*1 Health Visitor

\*2 School Nurse

\*3 Occupational Health Nurse

\*4 Family Health Nurse

出典：The Nursing and Midwifery Council : <http://www.nmc-uk.org>

### 3. 4 上級看護師資格の種類

看護師の資格取得後にそれぞれの専門教育を受けてから得ることができる資格には、Health Visitor, District Nurse, General Practice Nurse, Nurse Prescriber や各領域の Nurse Specialist (専門看護師：一般実践, 精神, 小児, 地域, 障害者, 産業, 在宅, 学校保健) と Nurse Consultant (看護コンサルタント) がある<sup>36)</sup>。専門看護師, 看護コンサルタントは大学院レベルの教育と実践経験を持つものに与えられる資格である。すべて NMC による認定資格であり, 国家資格としての法規定はない。

### 3. 5 現在の看護職の状況

NMC の看護職登録統計<sup>37-39)</sup>から, イギリスの近年の看護職の状況および実態を調査した。

2004 年 3 月末時点の登録者は約 660,000 人であり, 10 年間で約 18,000 人増加している。新規の登録者数は最近の 5 年間で急激に増加している (表 3)。しかし, 登録者の年齢別構成割合を見ると, 1995 年当時は登録者の半数以上が 40 歳未満であったが, 2004 年には 5 割以上が 40 歳以上,

さらに 1/4 以上が 50 歳以上という構成になっている (表 4)。これは近年の多くの看護学生が社会人であることの影響と見られている。性別登録者構成割合を見ると, 2002 年に初めて男性登録者割合が 10%を超え, その後も微増している (表 5)。

表 1 の旧登録部門別登録者数を見ると, Part1 一般看護師の登録が最も多くなっている。前述したように現在の登録は「プロジェクト 2000」による養成教育を修了した看護師の登録が主流であるため, その登録部門 Part12・13・14・15 は増加しているが, ほかの部門は減少している。

さらに, イギリスの看護職の現状で特徴的なのは, 海外からの看護師就労が増加していることである<sup>40)</sup>。これは, 看護師不足を短期的に補うために 2000 年から積極的に国外市場から看護師の採用が行われているためである<sup>41)</sup>。2004 年には 28,000 人以上の外国人看護師が登録しており, 全体の新規登録者約 35,000 人のうち, 14,000 人が海外からの看護師登録者である (表 3)。主にフィリピン, インド, 南アフリカ, オーストラリアからの就労である<sup>42)</sup>。この外国人看護師のほとんどが登録部門 Part1 に登録している。

表 3 看護職登録者数

	各年 3 月末時点 (人)									
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
登録者数	642,951	645,011	648,241	637,449	634,229	634,529	632,050	644,024	645,580	660,481
前年増減	4,590	2,060	3,229	-10,791	-3,220	300	-2,479	11,974	1,556	14,900
新規登録者	19,863	19,632	17,984	16,382	17,954	21,418	25,123	30,693	31,775	34,617
(内訳：外国人看護師)	-	-	-	-	3,621	5,945	8,403	15,064	12,730	14,122
登録抹消者	15,273	17,572	14,755	27,173	21,174	21,118	27,602	18,719	30,219	19,717

出典：NMC[Statistical analysis of the register 1 April 2003 to 31 March 2004]December 2004

表 4 年齢別看護職登録者構成割合

	各年 3 月末時点 (%)									
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
25 歳未満	4.45	4.07	3.61	3.17	2.98	2.90	2.12	2.24	2.10	2.02
25-29 歳	14.02	12.79	11.77	10.93	10.32	9.88	7.30	8.86	8.54	8.44
30-39 歳	35.92	36.40	36.14	35.71	34.84	33.68	31.31	30.63	29.37	28.30
40-49 歳	25.47	26.15	26.66	27.55	28.56	29.58	32.22	32.32	33.26	33.94
50-54 歳	9.16	9.43	10.30	10.96	11.28	11.55	12.82	11.46	11.46	11.62
55 歳以上	10.98	11.16	11.50	11.68	12.02	12.31	13.20	14.50	15.27	15.68

出典：NMC[Statistical analysis of the register 1 April 2003 to 31 March 2004]December 2004

表 5 性別看護職登録者構成割合

	各年 3 月末時点 (%)									
	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
男性	9.01	9.20	9.27	9.38	9.48	9.75	9.89	10.21	10.48	10.63
女性	90.99	90.80	90.73	90.62	90.52	90.25	90.11	89.79	89.52	89.36

出典：NMC[Statistical analysis of the register 1 April 2003 to 31 March 2004]December 2004

## 4. 考 察

### 4. 1 看護職の教育とその役割

イギリスでは、保健医療サービスが NHS を通じて提供されていること、看護職の多くが NHS に雇用されていることから看護教育は国家政策に強く影響されているといえる。近年の NHS の改革とともに、看護職養成および教育体制やその役割は現在も大きく変化している。プライマリケアに重点が置かれ、その健康維持や疾病予防に関わるケアは、まさに地域で看護職が主体的に担うことができる分野だと思われる。NHS の中心的な施策において、このような看護職の役割が拡大されることによる今後の成果に期待する。

### 4. 2 看護師資格と継続教育の充実

イギリスの看護師資格の特徴は、資格取得のための国家試験がないこと、また基礎教育の段階ですでに専門領域を選択し教育を受けているため、看護師全員がいわゆる専門看護師として資格登録し、就労していると考えられることである。さらに、免許更新制度にかかる定期的な継続教育の実施やさまざまな教育背景や実践経験を持つ看護師が学位を取得できるように大学や病院が多様な学習プログラムやコースを開設している。これらは、看護職が専門職としての責任と自覚を持つこと、そして看護職が生涯にわたって意欲的に専門教育を受け、常にスキルアップしていくことが可能なシステムとなっている。

### 4. 3 看護職の需要状況

イギリスでは、近年看護師の全登録者数、新規登録者ともに増加しているにもかかわらず、未だ看護師が不足している要因として、看護職の役割拡大による需要の高まりの影響も受けていると思われる。さらに、登録看護師の年齢構成から今後 10 年以内に多くの看護師が引退すると予測されているため、この問題は今後も続くと思われる。その中で、イギリスにおける外国人看護師の採用の拡大は非常に重要なものであると同時に、経済状態のよくない国からの看護師の採用によりその国の保健医療サービス提供に支障をきたすことや人種差別など、さまざまな倫理的問題の発生も懸念されている<sup>41)43)</sup>。

## 5. おわりに

イギリスにおける看護職の教育体制とその現状について、関連文献やインターネットを中心に情

報収集し、主に看護職の教育やその役割および看護師資格、継続教育体制、就労状況について考察した。1990 年代以降、看護職をとりまく状況は国家政策による医療保障制度の改革の影響を強く受け、現在も大きく変化し続けている。今後もイギリスの看護師教育から就労状況に至る経過や看護職の役割拡大などの動向を引き続き調査し、さらにわが国の現在もしくは将来的な看護職の資質向上への取り組みの参考としたい。

本調査は平成 16 年度科学研究費補助金基盤研究 (C) 企画調査「研究課題：地域ケアシステムの国際比較研究のための企画」(研究代表者：金川克子) の助成を受けて行ったものの一部である。

## 引用文献

- 1) 健康保険組合連合会：社会保障年鑑 2003 年版。東洋経済新報社，278-287，2003.
- 2) 近藤克則：医療費抑制の時代を超えて イギリスの医療・福祉改革。週刊医学界新聞，2587，2004.
- 3) 小林美亜，池上直己：米国・英国における上級看護資格の現状とその意義。病院，62 (5)，387-393，2003.
- 4) 日本看護協会：平成 12 年度看護政策立案のための基盤整備推進事業報告書。30，2001.
- 5) 八代利香：イギリスにおける看護職に対する教育の現状。看護教育，41(5)，384-388，2000.
- 6) 山本あい子：諸外国における看護師の業務と役割に関する研究。平成 13 年度総括研究報告書，2002.
- 7) 増野園恵，勝原裕美子：看護師の業務と役割の模索 英国の場合。看護管理，13(2)，134-139，2003.
- 8) 前掲書 3)149
- 9) 前掲書 3)157
- 10) 志賀晶子，平岡敬：イギリスにおける看護師不足の現状。看護学統合研究，4 (2)，60-63，2003.
- 11) 前掲書 2)
- 12) 近藤克則：医療従事者の不足と士気低下。公衆衛生，66 (3)，204-205，2002.
- 13) James Buchan：看護労働市場に対する英国政府の介入・政策分析。看護管理，13(4)，276-281，2003.
- 14) 前掲書 7)
- 15) 村岡芳枝，成田志乃，藤原喜代美：イギリスにおける看護教育改革の現状。看護教育，43(12)，1060-1064，2000.
- 16) 伊藤道子，三浦まゆみ：英国の大学における看護婦教育。岩手県立大学看護学部紀要，3，135-139，2001.
- 17) 前掲書 4) 90

- 18) 中島一恵, 住岡敏弘, 高瀬淳, 他 1 名 : 日欧の看護婦 (士) 養成制度に関する研究. 長崎女子短期大学紀要, 25, 23-39, 2001.
- 19) 高田谷久美子, 奥村百合恵, 佐藤みつ子, 他 1 名 : イギリスにおけるコミュニティーケアと看護教育, 山梨医大紀要, 16, 20-22, 1999.
- 20) United Kingdom Central Council for Nursing, Midwifery and Health Visiting : Fitness for practice Summary. 1999.
- 21) マギー・イアノー : イギリスの地域スペシャリストの役割. インターナショナルナーシングレビュー, 26 (3), 52-55, 2003.
- 22) マーク・ジョーンズ : イギリスの医療・看護政策と在宅看護. インターナショナルナーシングレビュー, 27 (1), 59-63, 2004.
- 23) 柳井圭子 : イギリスの保健婦助産婦看護婦法. 九州看護福祉大学紀要, 2 (1), 175-183, 2000.
- 24) The Nursing and Midwifery Council : Standards of proficiency for pre-registration nursing education. 2004.
- 25) 宮本千津子, 田中克子, 服部律子, 他 1 名 : 英国 (U. K. ) における看護学教育について. 岐阜県立看護大学紀要, 3 (1), 109-115, 2003.
- 26) 前掲書 16)
- 27) Kate Gerrish : 英国およびシェフィールド大学における看護学大学院教育. Quality Nursing, 9(5), 394-398, 2003.
- 28) 野嶋佐由美, 三好智美 : 英国における看護教育. 看護研究, 26(7), 595-602, 1993.
- 29) 前掲書 4)
- 30) 前掲書 25)
- 31) 中島一恵, 住岡敏弘, 高瀬淳 : EU における看護婦 (士) 養成制度の現状と課題. 長崎女子短期大学紀要, 26, 1-15, 2002
- 32) 吉田みつ子, 川原由佳里, 佐々木幾美, 他 3 名 : イギリスにみる看護婦資格登録制度, Quality Nursing, 6 (10), 893-898, 2000.
- 33) 前掲書 31)
- 34) 菱沼典子, 及川郁子, 小澤道子, 他 5 名 : 看護の質の確保に関する研究 先進諸国における免許更新制度. 聖路加看護大学紀要, 25, 52-67, 1999.
- 35) 前掲書 32)
- 36) 前掲書 7)
- 37) The Nursing and Midwifery Council : Statistical analysis of the register 1 April 2003 to 31 March 2004, 2004.
- 38) The Nursing and Midwifery Council : Statistical analysis of the register 1 April 2002 to 31 March 2003, 2004.
- 39) The Nursing and Midwifery Council : Statistical analysis of the register 1 April 2001 to 31 March 2002, 2002.
- 40) 前掲書 13)
- 41) 前掲書 4) 32
- 42) 前掲書 37)
- 43) 前掲書 10)
- (受付 : 2005 年 3 月 31 日, 受理 : 2005 年 5 月 9 日)

## A Study of the Current Status of Nursing and Nursing Education System in UK

Shiho SONE, Junko TAKAI, Syuichi OKI, Emiko SAITO,  
Sugako TAMURA, Katsuko KANAGAWA, Kazuko SAEKI

### Abstract

This paper is designed to investigate the current status of nursing and nursing education system in the UK, and draw upon the results for consideration of the nurse's role and improvement of nursing qualifications in Japan.

The results made clear the relation between government reform policy concerning the NHS and nursing, and the current changing situation of nursing education and the nurse's role. Government reform policy concerning the NHS has had a major effect on the current status of nursing and nursing education system in the UK, and it is changing constantly today. Nurse numbers are up, but shortage of medical staff is still a big problem in the UK. In recent years, the number of nurses from overseas is increasing.

The study will continue to investigate the trend of the nursing education system, employment, and the nurse's role in the UK, and data gathered will be used to help further develop nursing in Japan.

**Keywords** UK, public health care system, nursing education, qualification of nurse, nurse shortage